

ワタミグループ「2026 年度 風車見学ツアー」を実施

～再生可能エネルギーの現場を体験し、環境への学びを深める～

ワタミ株式会社（東京都大田区）は、2026 年 9 月 11 日～12 日の 2 日間、グループの ESD※1（持続可能な開発のための教育）の一環として「2026 年度 風車見学ツアー」を実施しました。外食事業、宅食事業、中京センター、本部など、グループのさまざまな部門から 18 名が参加し、風力発電設備やバイオガス発電所などを見学しました。再生可能エネルギーの現場を実際に体験することで、環境への理解を深め、日々の業務における環境意識の向上を図りました。

■ワタミグループの再生可能エネルギーを支える「風民」を見学

風力発電設備「ワタミの夢風車『風民（ふうみん）』」は、持続可能なエネルギー創出を目的に、2012 年 4 月より秋田県にかほ市で稼働を開始しました。一日最大 48,000kWh の発電能力を誇り、昨年度は年間約 515 万 kWh を発電しました。「風民」で生み出される環境価値は、ワタミグループ全体の「RE100」※2 達成を支える重要な要素となっており、「SDGs」の実現に向けた大きな貢献を果たしています。今回のツアーでは、「風民」の設備や発電について学んだほか、参加者 2 名が風車上部のナセルに上り、普段見ることのできない設備を間近で見学しました。再生可能エネルギーが生み出される現場を体感することで、環境への理解を深める機会となりました。



■「風民」のふもとでの集合写真



■地上約 80m 地点のナセルで記念写真を撮る参加者

■ 食品残渣を利用するバイオガス発電を通じて「資源を循環させる」仕組みを学ぶ

昨年度に引き続き、株式会社ナチュラルエナジージャパン様（秋田市）のバイオガス発電所も視察しました。同施設では、ミライザカ秋田駅前店の生ごみなどを原料とし、発酵処理によって生成されたメタンガスを用いて発電を行っています。「捨てるもの」だった食品残渣を資源として活用し、エネルギーへと変える循環の仕組みを実際に見学することで、ワタミグループが進める環境・資源循環への取り組みについて理解を深めました。



■ 株式会社ナチュラルエナジージャパン様での座学の様子

■ 自然を未来へつなぐ思いを、日々の行動へ

ツアーでは、にかほ市内にある元滝伏流水にも訪れ、豊かな森が育む雄大な自然に触れました。参加者からは「この豊かな自然を未来に残したい」という声も聞かれ、自然環境を守ることの大切さを改めて感じる機会となりました。ワタミが環境方針として掲げる「美しい地球を美しいままに、子どもたちに残していく」という思いを共有し、ツアーの最後には、2日間の学びをそれぞれの仕事でどのように活かしていくかを考え、SDGs 宣言を実施。環境への学びを具体的な行動につなげる機会となりました。

※1 ESD について

Education for Sustainable Development の略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。

今、世界には気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等人類の開発活動に起因する様々な問題があります。ESD とは、これらの現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組む（think globally, act locally）ことで、問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらす、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動です。

※2 RE100 について

「RE100」は再生可能エネルギー100%を目標に掲げる企業が加盟する国際イニシアチブです。再生可能エネルギーの使用は、企業にとってエネルギーコストの抑制だけでなく、CO2の排出削減目標達成などにも寄与が見込めます。加盟企業メンバーは IT から自動車製造まで、幅広い業種を含みます。「RE100」は、「The Climate Group（クライメイト・グループ）」が「CDP」とのパートナーシップの下で主催する、「We Mean Business」連合の一部です。

■ ワタミ株式会社

【住 所】 東京都大田区羽田 1-1-3

【代表者名】 代表取締役会長 兼 社長 CEO 渡邊 美樹

【設 立】 1986 年 5 月

【事業内容】 国内外食事業、海外事業、宅食事業、農業、環境事業、人材サービス事業

【ホームページ URL】 <http://www.watami.co.jp>

お問い合わせ先

ワタミ株式会社 ブランド広報室 / TEL : 03-5737-2784 / E-mail : press@watami.net